

利島村におけるツバキ種子の収量および株の個体間差異

南 晴文・沼沢健一・*秋山 清・*鈴木伸枝

(大島園芸技術センター・*中央農業改良普及センター大島)

【要 約】 ツバキ種子収量の年次変動は大きいですが、100 粒重は安定している。ツバキの生産性に関する個体間の差は大きく、2 K g 以上の変異がある。

【目 的】

ツバキ種子収量は年次変動が大きいことが知られている。利島村におけるツバキ種子収量および種子収量の個体間差異を調べて、ツバキ種子収量の年次変動および作況指数化を進める。

【方 法】

1) 果実および種子の収穫法

利島村において 1999 年に選定した株（個体番号 1）について、株元にネットを展開し株全体の果実および種子を継続して収穫した。2003 年、新たに 5 株を選定し果実および種子を収穫した。

2) 収量の測定法

上物種子を選定し、その種子数および重量を測定した。また、上物種子について、100 粒重を測定した。

【成果の概要】

1) 2003 年度の個体番号 1 の収量結果

上物種子数は 1200 個、不良種子数は全種子数の 5% と少なく作柄としては良であった（表 1）。また、上物種子重は 2 K g を超えた。

2) 個体番号 1 における収量の年次変動および 100 粒重

個体番号 1 の収量は、1998 年度をピークに下降したが、2002 年度から上昇して 2003 年度においても同等であった（図 1）。100 粒重は、多少の変動はみられるが、150～200 g の安定した値を示した。

3) 収量および 100 粒重の個体間変異

収量の低い個体は個体番号 4 および 7 で、それらの収量はそれぞれ 0.2 および 0.6 K g であった（図 2）。一方、最も収量の高い個体では 3 K g で、その差は 2 K g 以上にもなった。

4) 以上、2003 年度の利島村ツバキ収量は昨年度並みの収量であると推測できる。2003 年度に新たに選定した株についての測定結果を加え、今後、利島村におけるツバキ生産量の作況指数化を進めていく。

表1 2003年度株番号1のツバキ種子数および重量

項目	種子数			種子重	
	全種子数 (個)	上物種子数 (個)	不良種子数 (個)	上物種子重 (g)	100粒重 (g)
	1266	1199	67	2116	164

株番号2については2003年度収穫不能

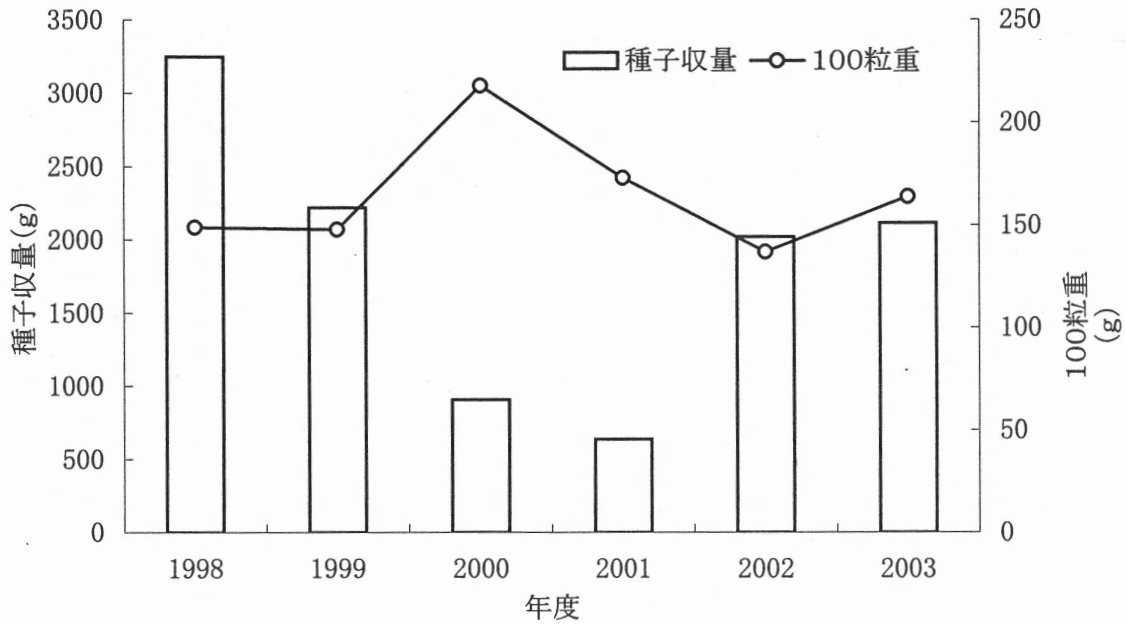


図1 ツバキ種子収量および100粒重の年次変動(株番号1)

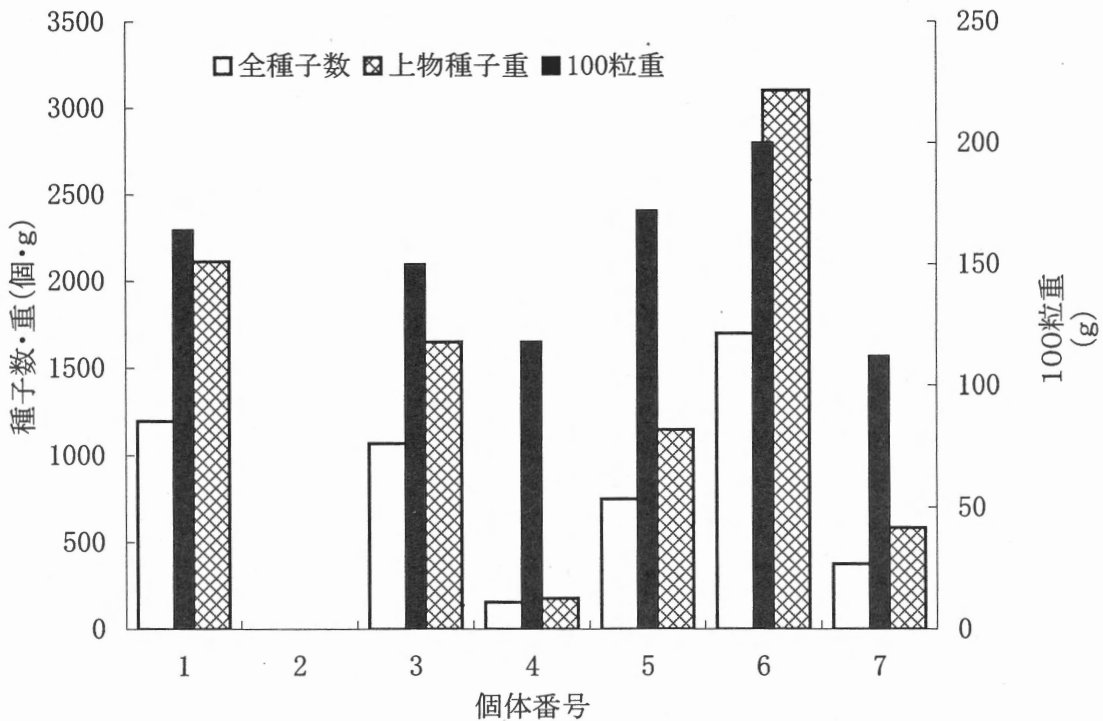


図2 2003年度ツバキ種子重の個体間変異